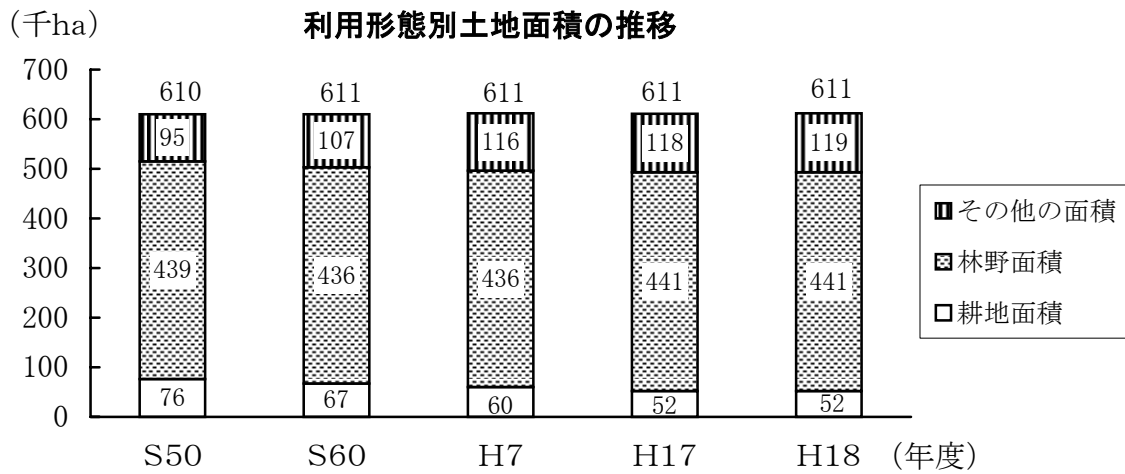


1. 森林資源の現況

(1) 土地利用 (関連資料P21)

本県の林野面積は、441千haで、総土地面積611千haの72%を占め、林野率は全国平均を上回っている。



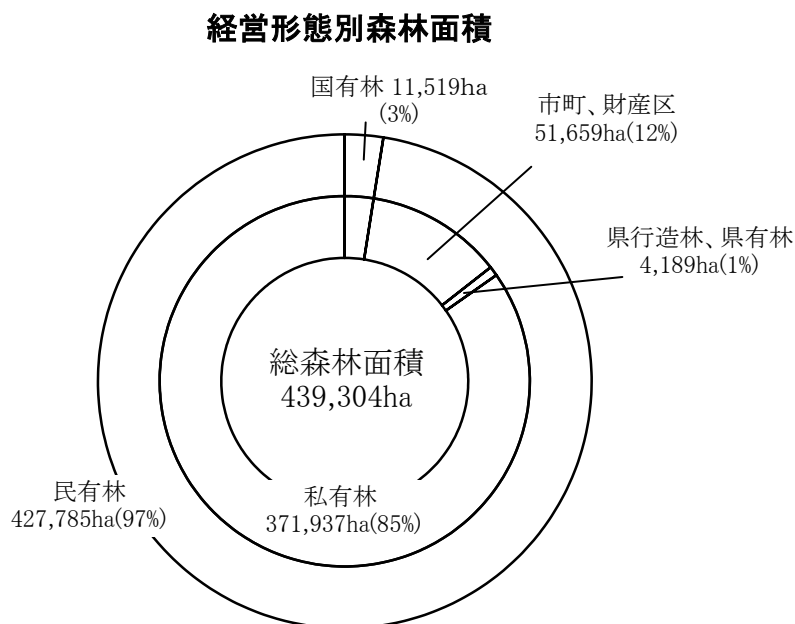
林野面積と林野率

区分	山口県	全国
林野面積	441千ha	24,861千ha
林野率	72%	67%

(資料) 全国は2005年農林業センサス

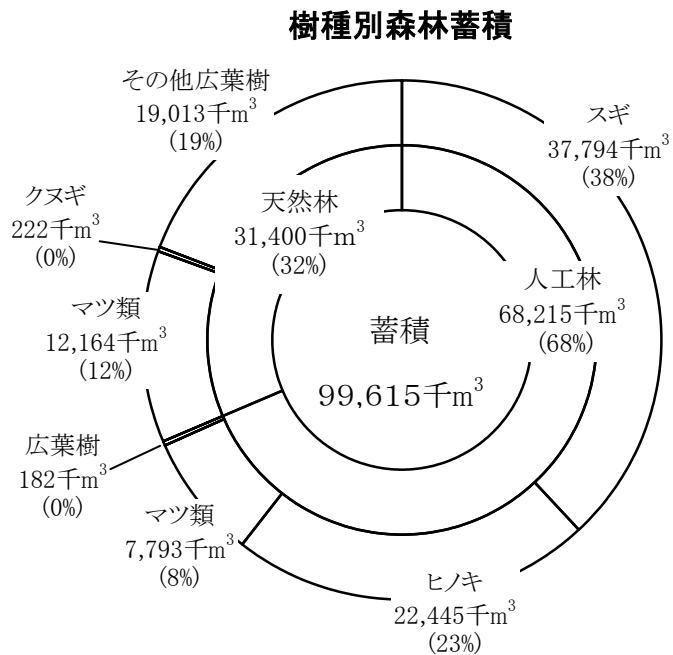
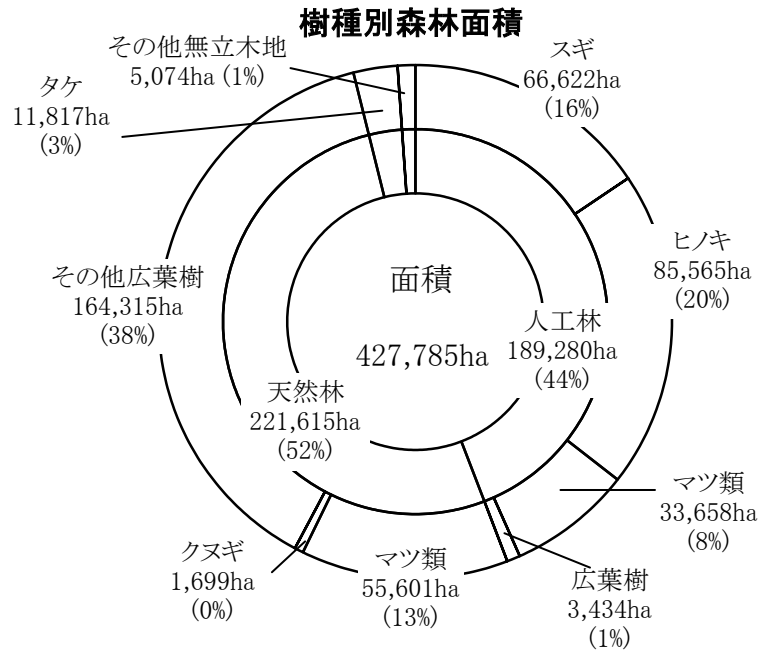
(2) 経営形態別森林面積 (関連資料P22)

経営形態別は民有林が97%を占め、国有林は3%である。また、私有林は85%を占める。



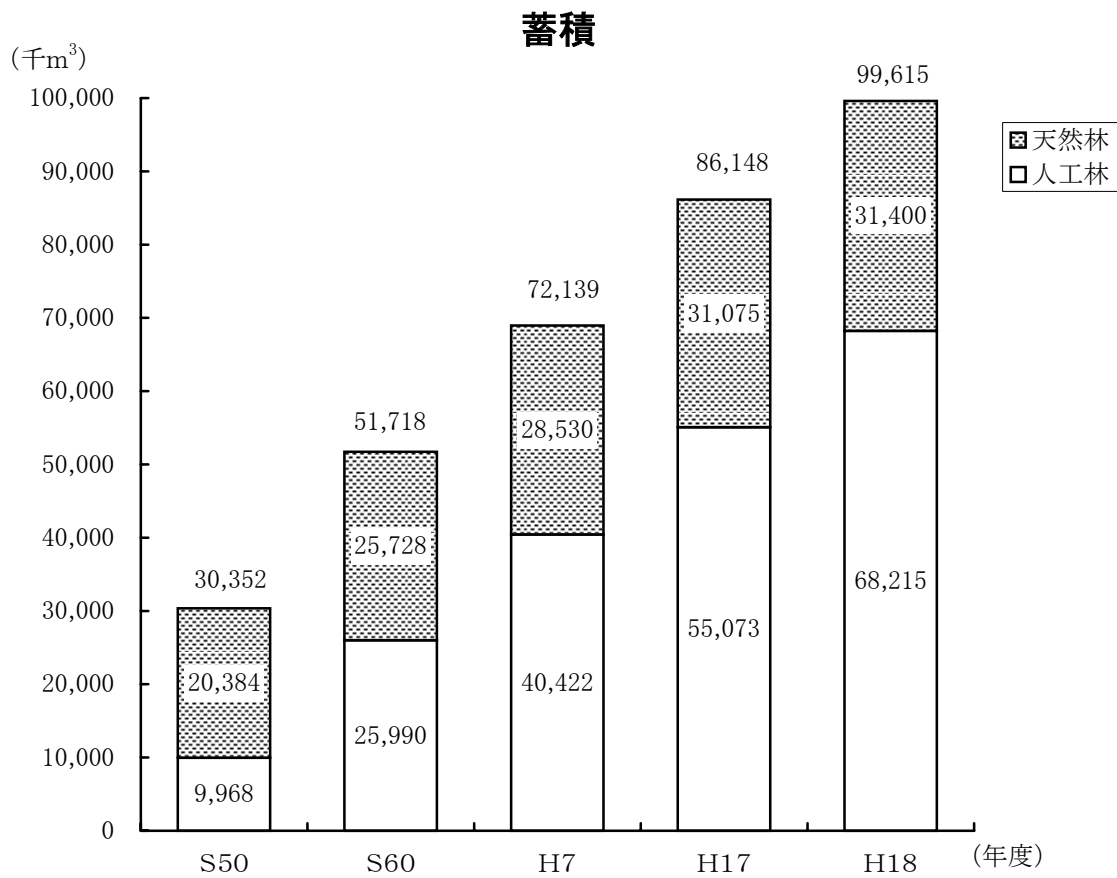
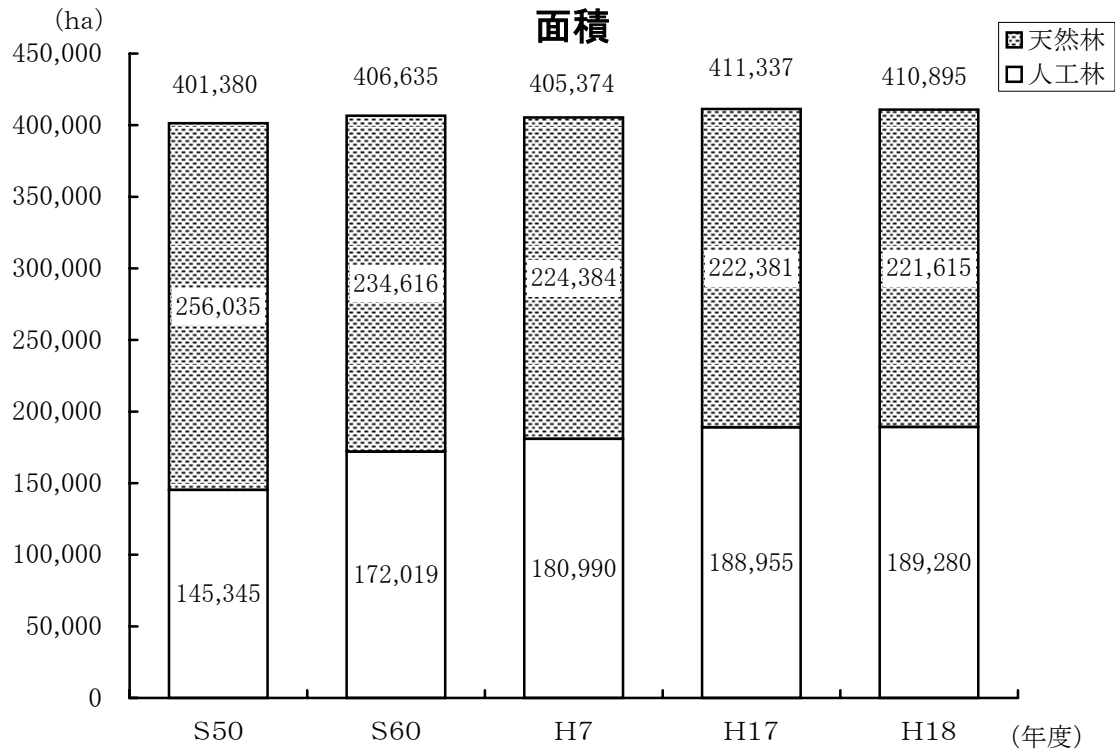
(3) 民有林の樹種別面積と蓄積 (関連資料P24)

樹種別面積構成は、針葉樹が56%(スギ16%、ヒノキ20%、マツ類21%)、広葉樹39%、竹林等が4%であり、また天然林、人工林比較では、人工林が44%である。
 樹種別蓄積構成は針葉樹81%(スギ38%、ヒノキ23%、マツ類20%)、広葉樹19%の割合である。

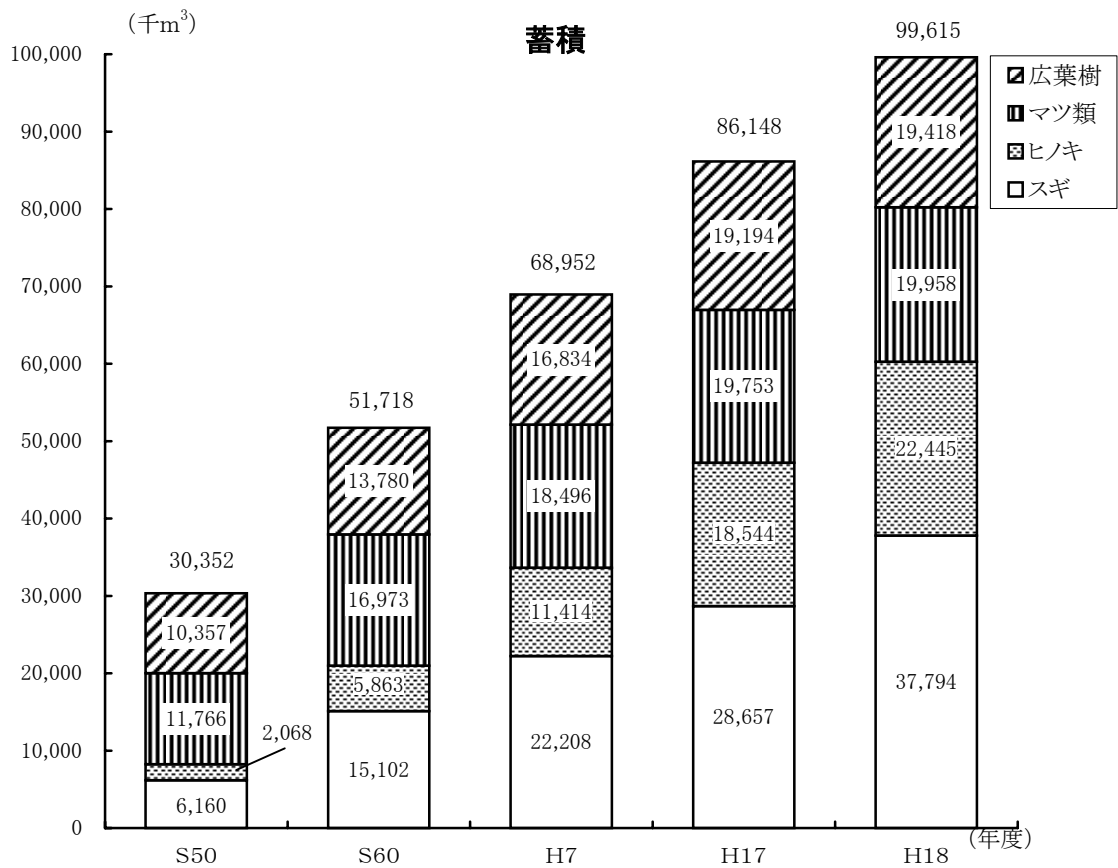
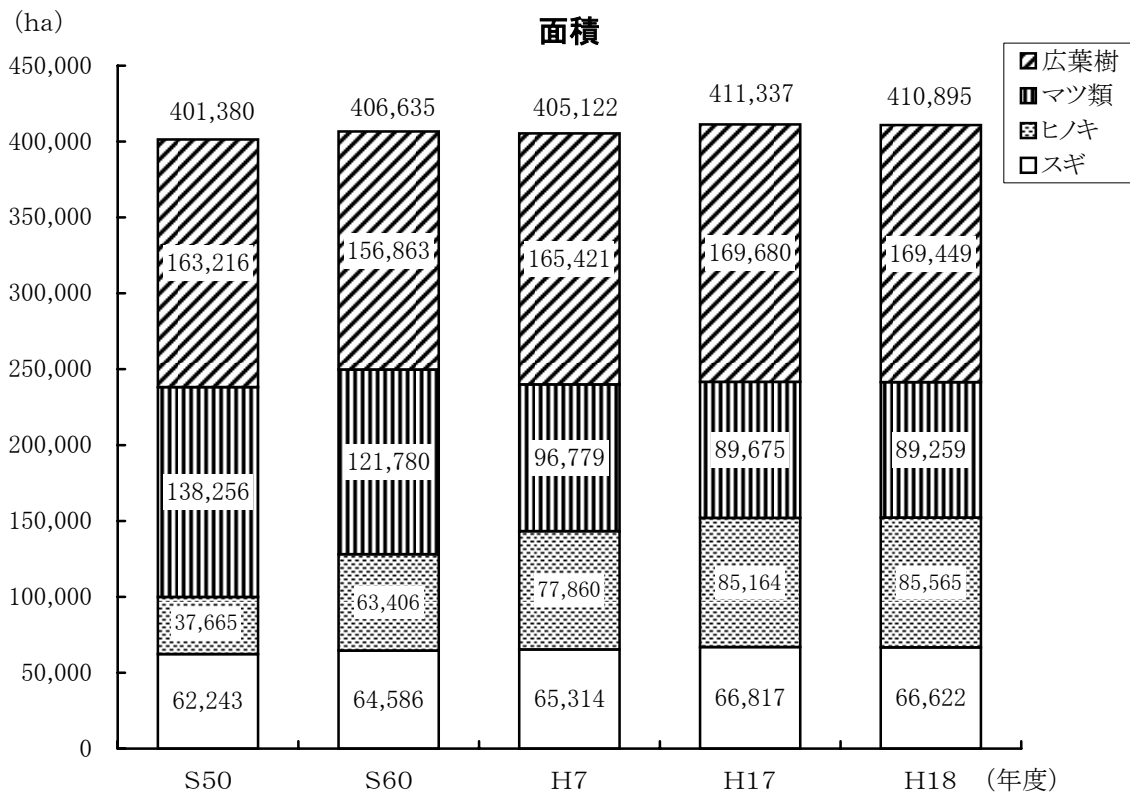


(4) 森林面積と蓄積の推移 (関連資料P24)

ア 人天別森林面積及び蓄積

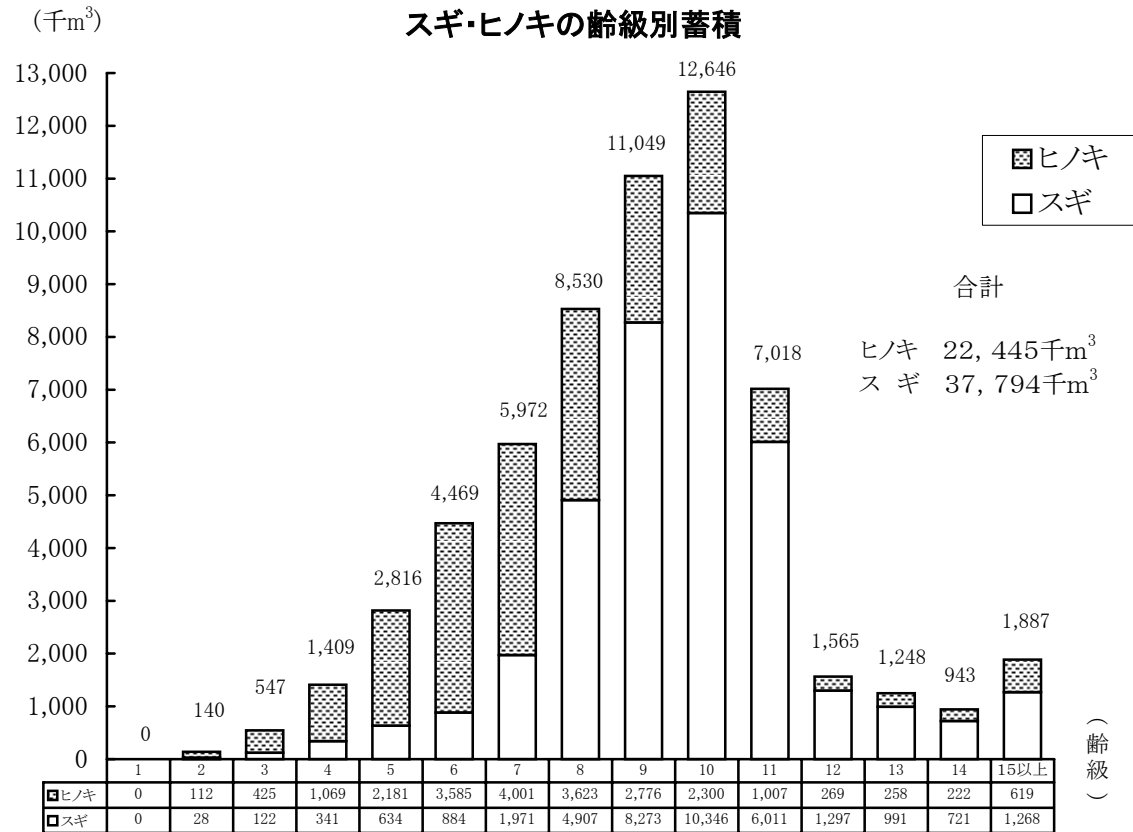
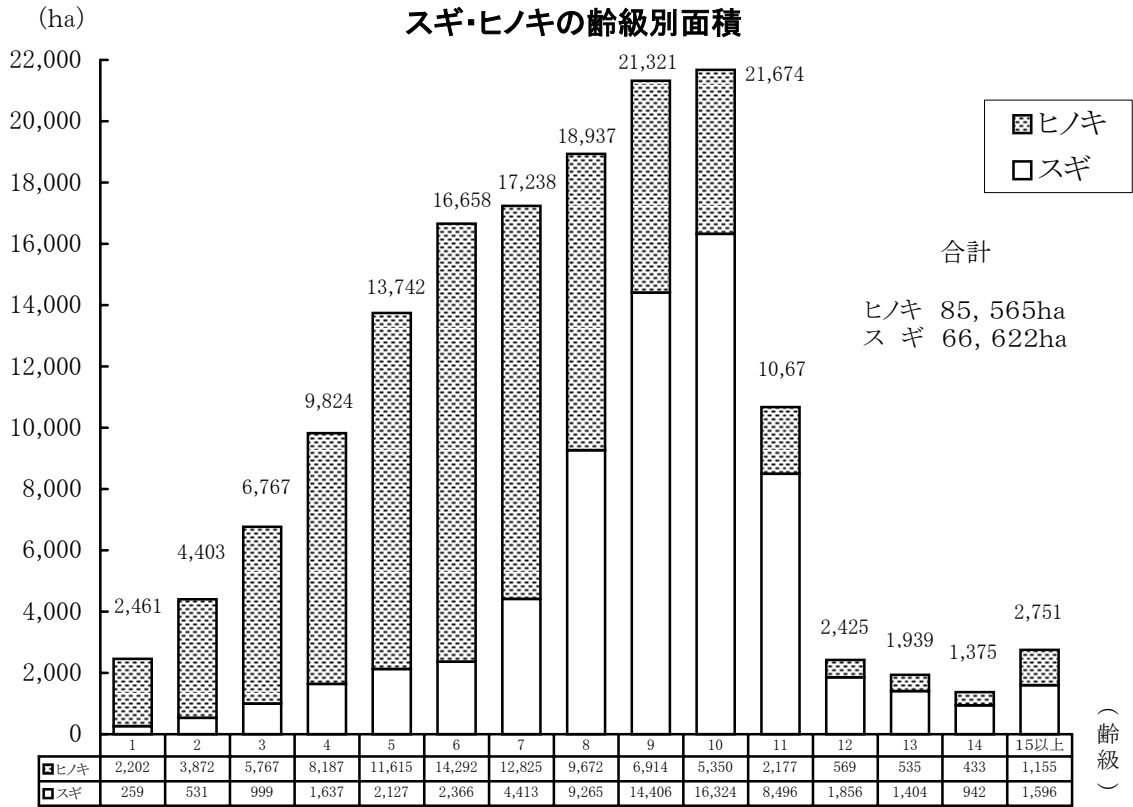


イ 樹種別森林面積及び蓄積



(5) 人工林(スギ・ヒノキ)の齡級構成 (関連資料P28)

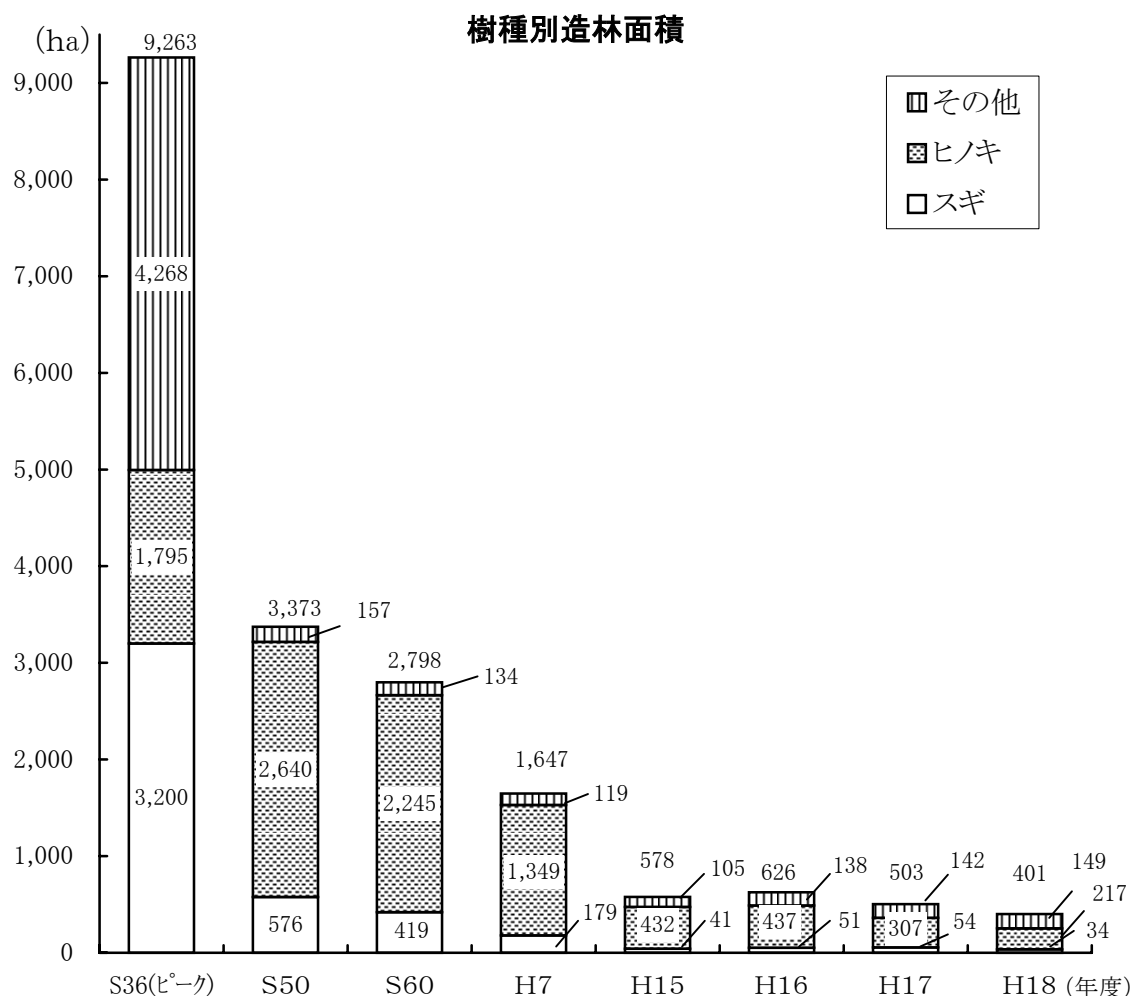
人工林(スギ・ヒノキ)の齡級構成は、保育間伐等手入れを必要とする7齡級(35年生)以下の森林面積が47%を占めている。



2. 造林等

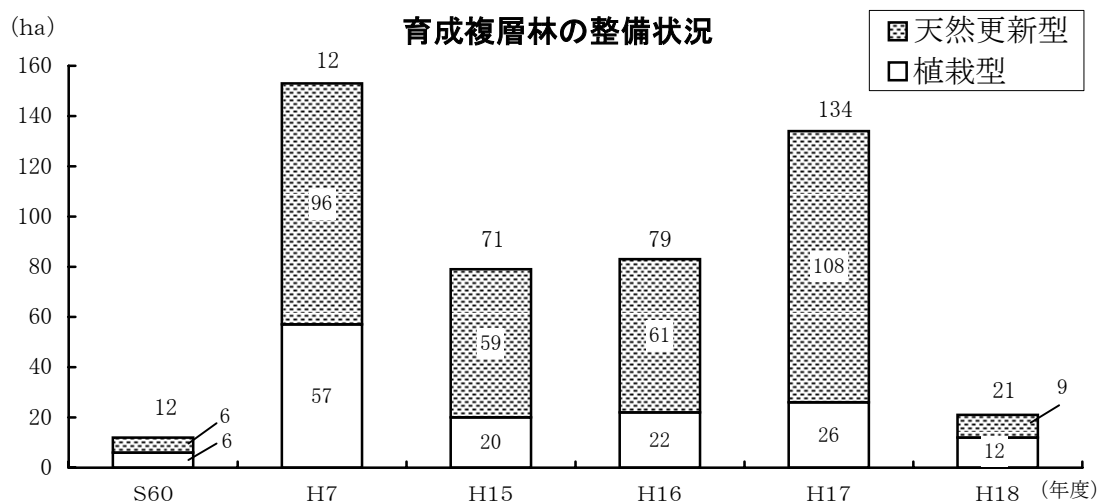
(1) 造林（関連資料P41）

造林面積は、昭和36年度の9,263haをピークに減少傾向にある。造林樹種は、スギ・ヒノキがその主体を占めている。その他の樹種は、昭和52年度までマツが主体であったが、その後は広葉樹が主体となっている。



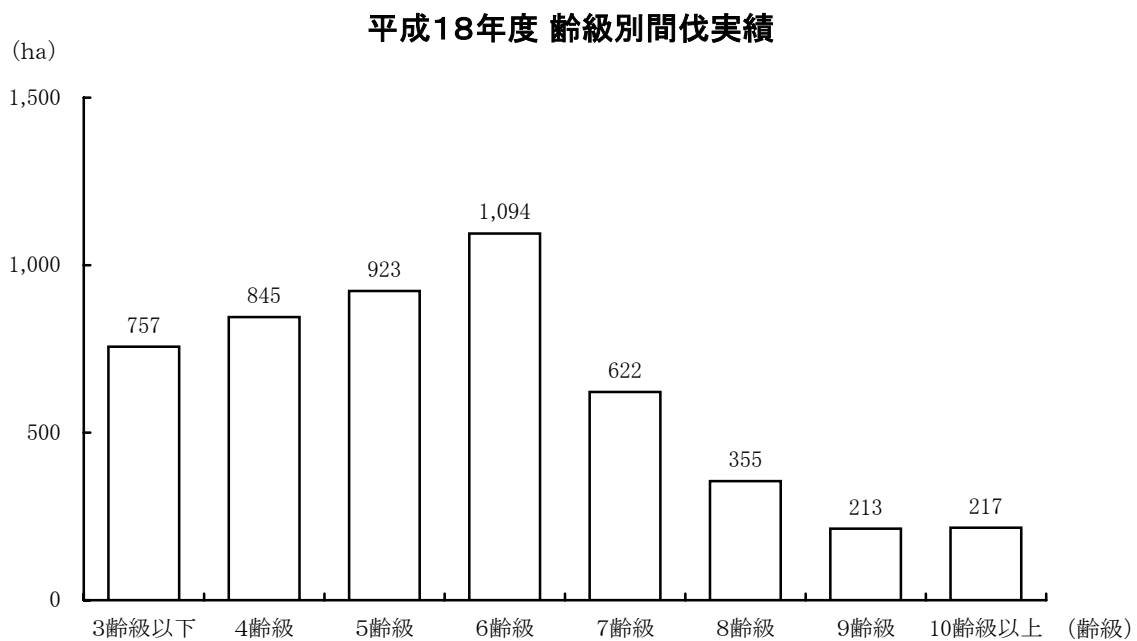
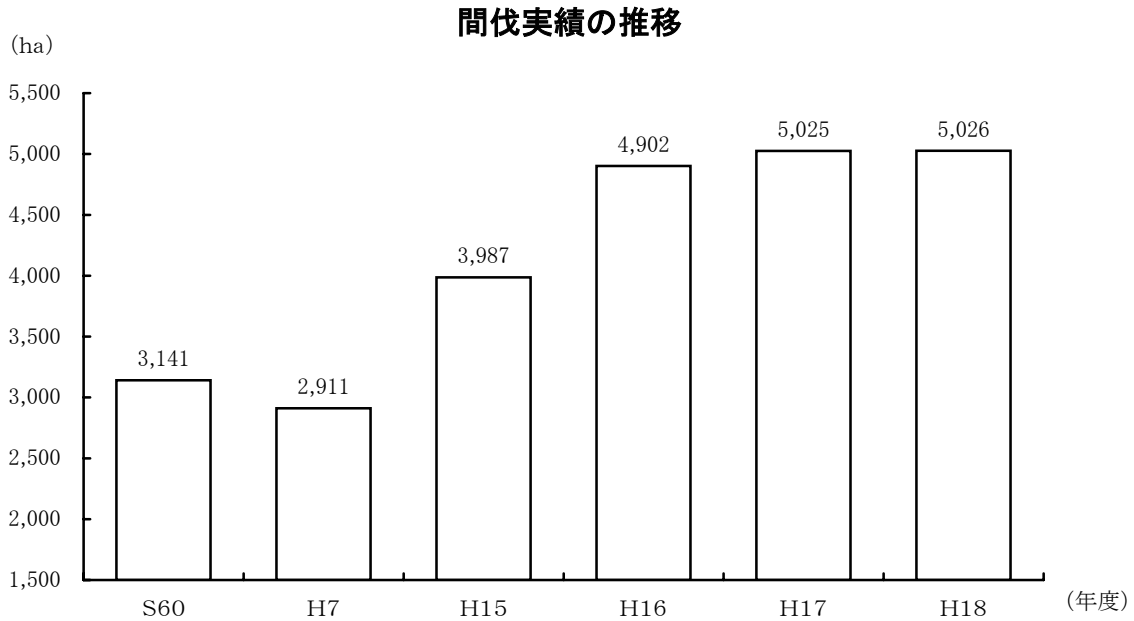
(2) 育成複層林の整備（関連資料P52, 53）

育成複層林の整備は、植栽型と天然更新型により実施している。

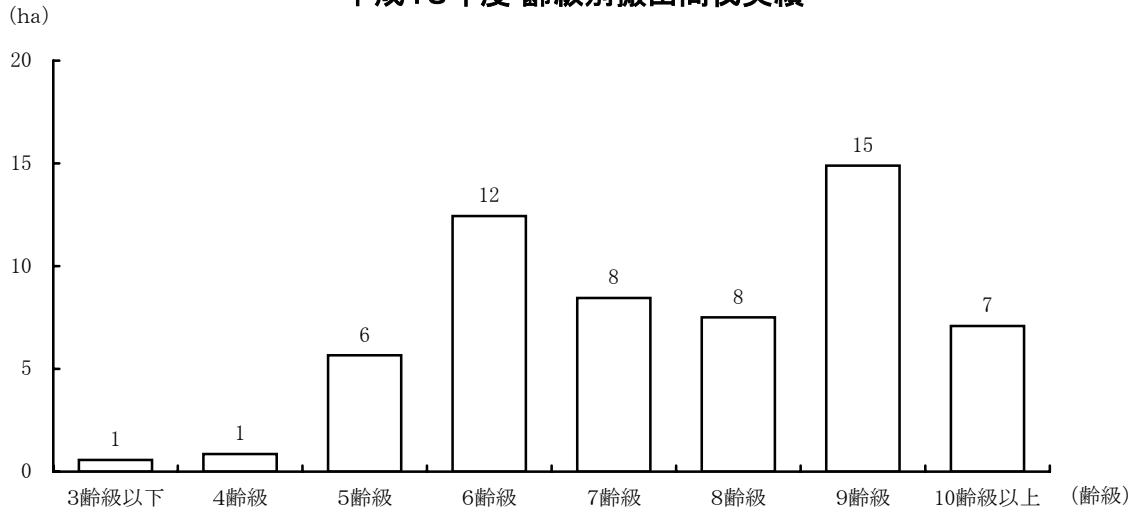


(3) 間伐（関連資料P58, 造林保護班資料）

スギ・ヒノキの人工林のうち、間伐対象の主体となる4齢級から7齢級の森林面積は約57,462haあり、平成18年度は5,026haの間伐を実施している。



平成18年度 齢級別搬出間伐実績



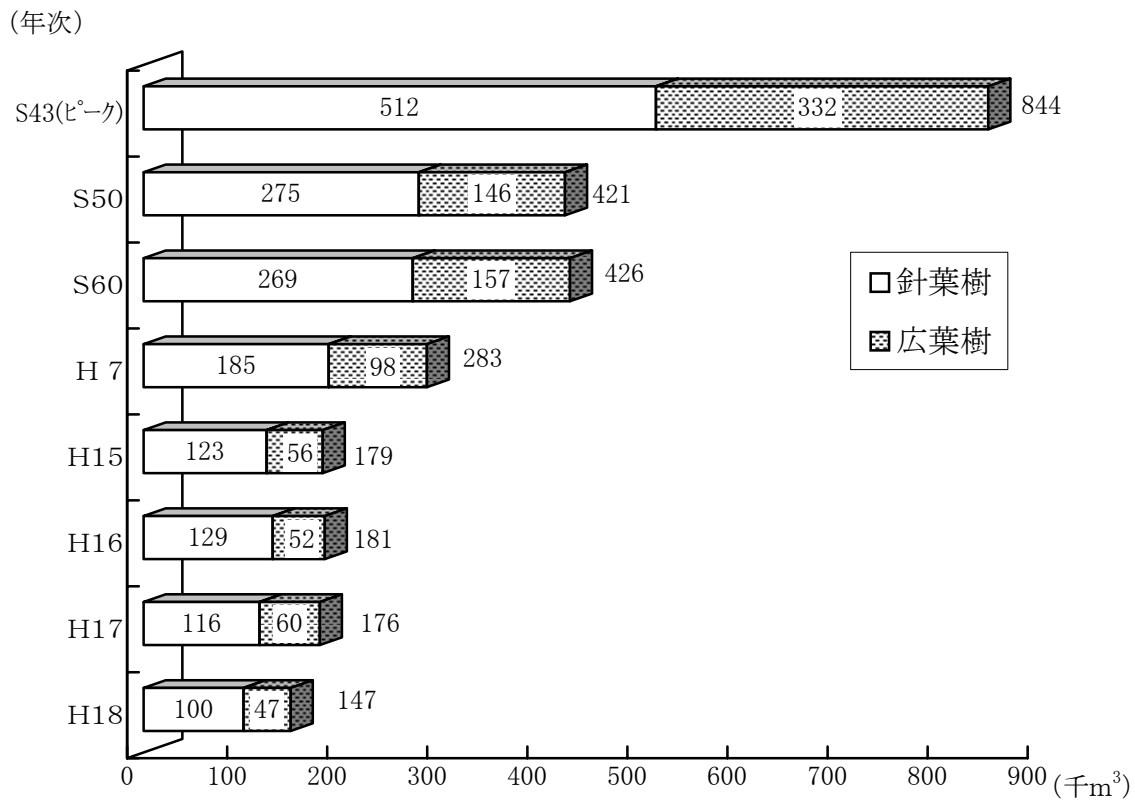
3. 林産物生産

(1) 木材生産 (関連資料P61)

ア 素材生産

素材生産量は、昭和43年の844千 m^3 をピークに減少傾向にあり、平成8年以降は、ピーク時の3割以下となっている。

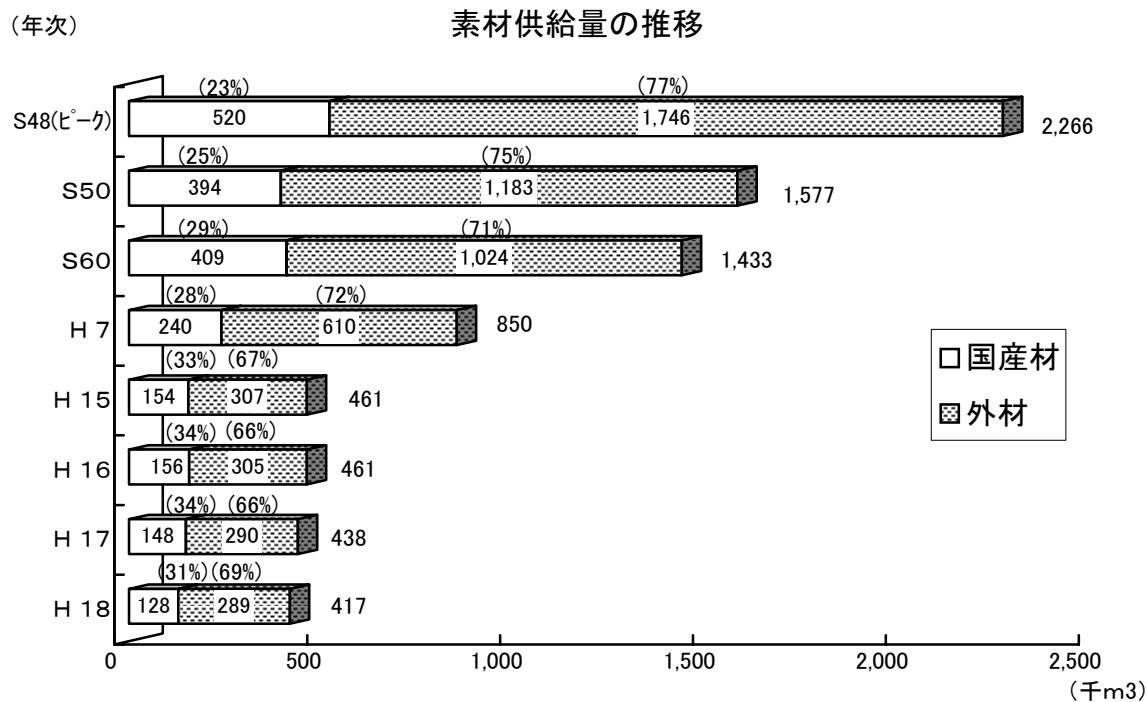
素材生産量の推移



イ 素材供給

素材供給量は、昭和48年の2,266千m³をピークに減少し、平成18年はピーク時の2割となり、依然として減少傾向が続いている。

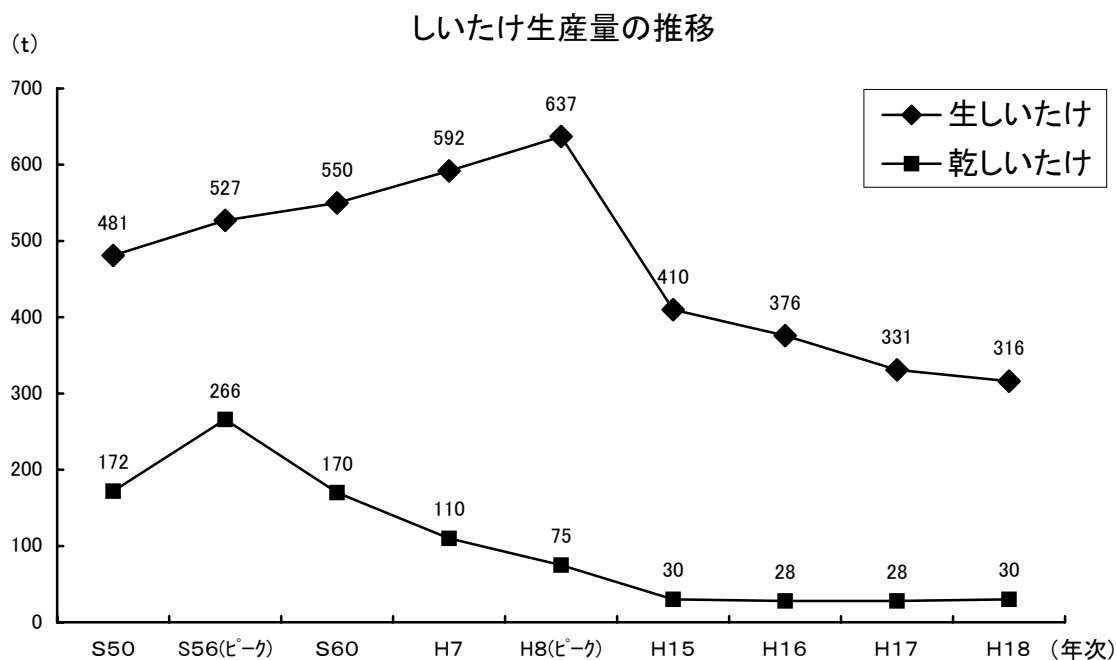
国産材、外材別では平成18年も外材が7割近くを占めており、典型的な外材主導型の需給構造となっている。



(2) 特用林産 (関連資料P71)

ア しいたけ

乾しいたけの生産量は、昭和56年の266tをピークに減少傾向で推移している。また、生しいたけは、平成8年の637tをピークに減少傾向にある。

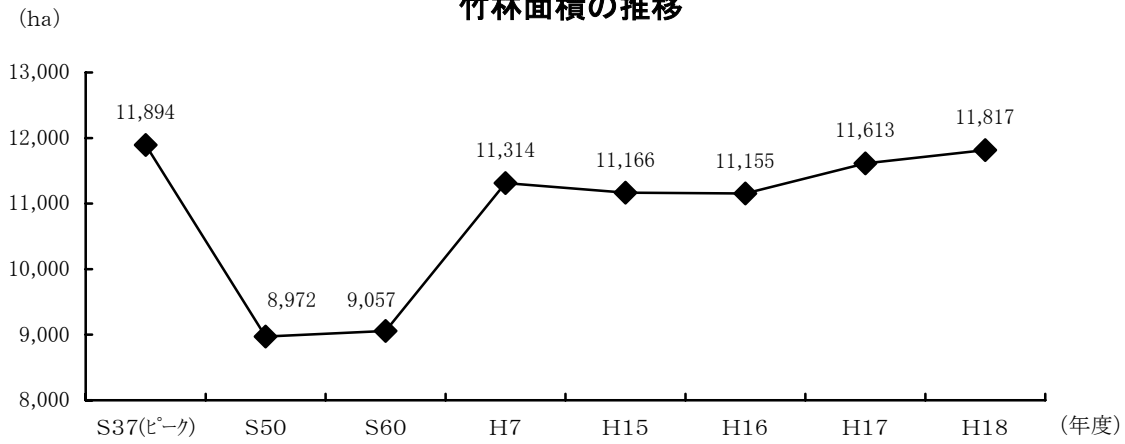


イ 竹林等

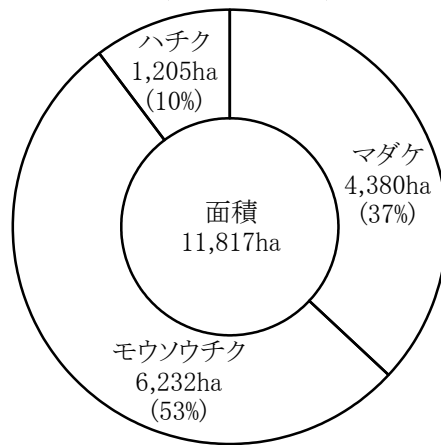
竹林面積は、昭和37年度の11,894haをピークとして減少していたが、再び増加傾向にある。

しかし、竹材及びたけのこの生産量はいずれも減少傾向で推移している。

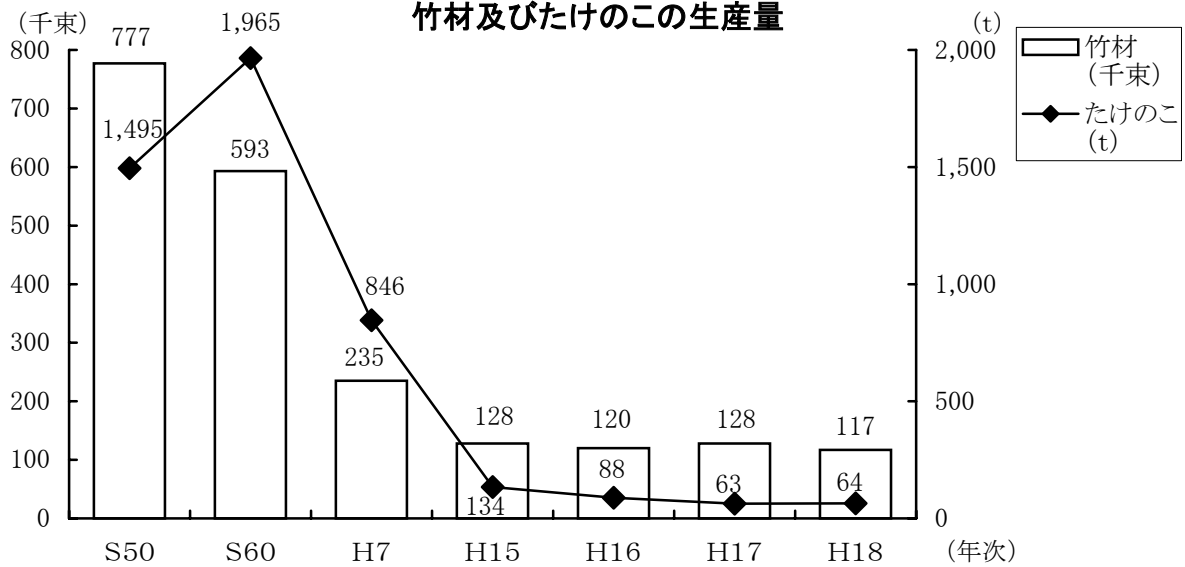
竹林面積の推移



種類別竹林面積



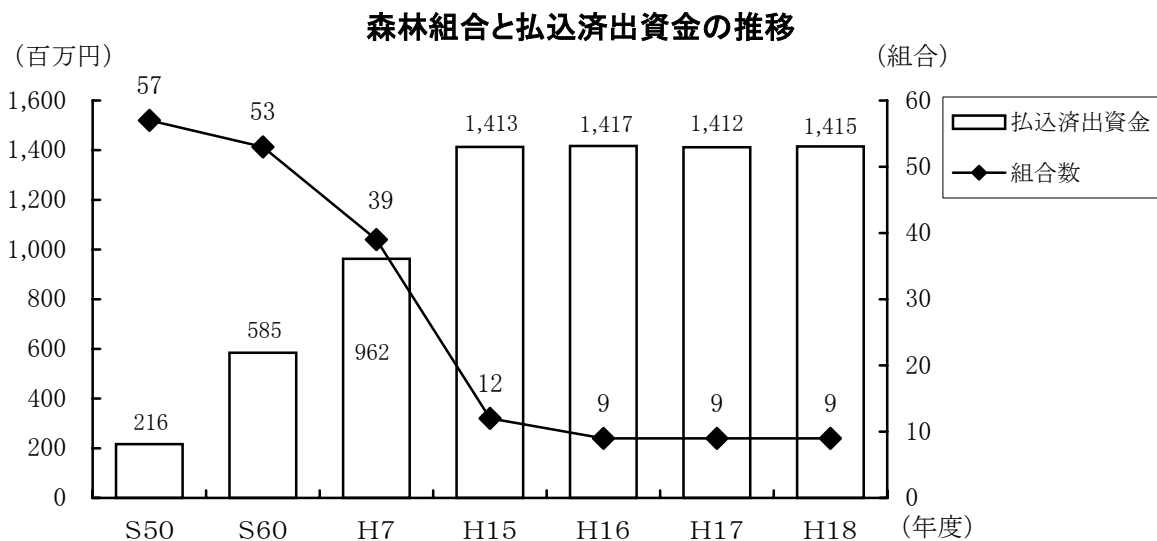
竹材及びたけのこの生産量



4. 森林組合

(1) 森林組合の概況（関連資料P79, 82）

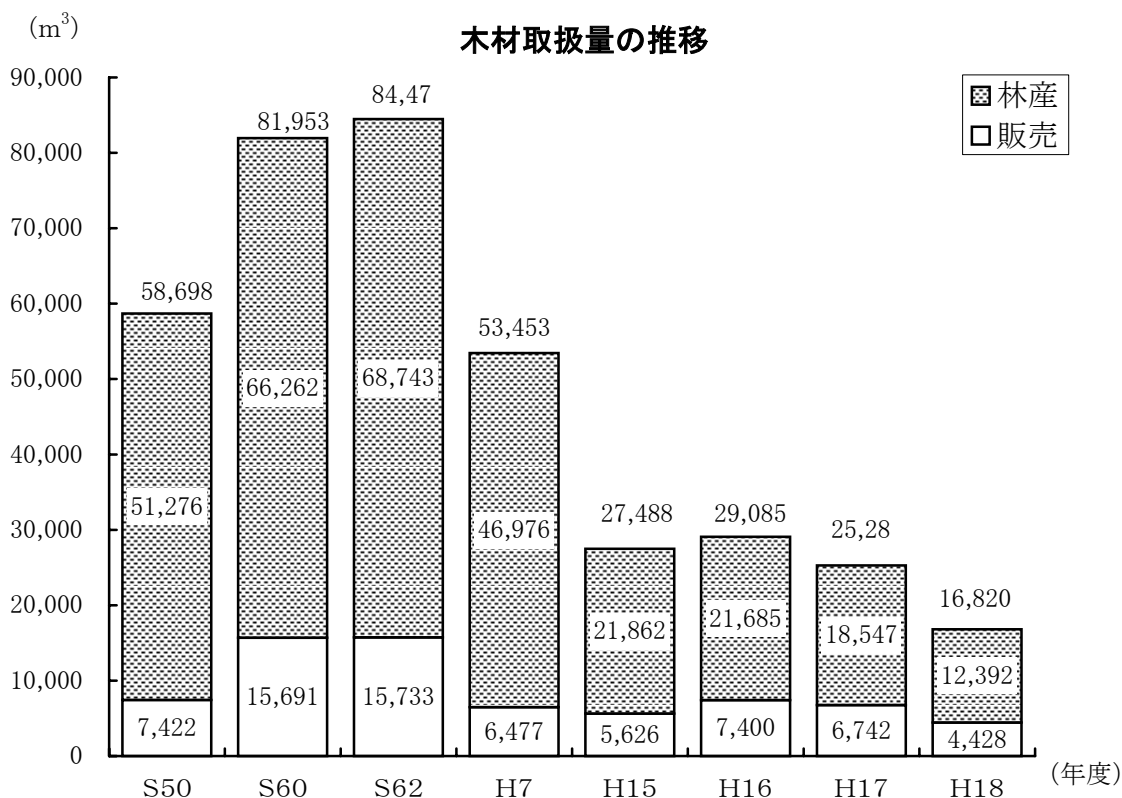
払込済出資金は昭和60年度の2倍を超えるなど資本の充実が進んでいる。



区 分	年 度	S50	S60	H7	H15	H16	H17	H18
森林組合数		57	53	39	12	9	9	9
森林組合員数(人)		55,757	56,695	55,529	53,597	52,237	52,134	52,011
組合員森林所有面積(ha)		304,362	309,398	305,228	307,938	306,661	306,105	306,045
払込済出資金(百万円)		216	585	962	1,413	1,417	1,412	1,415

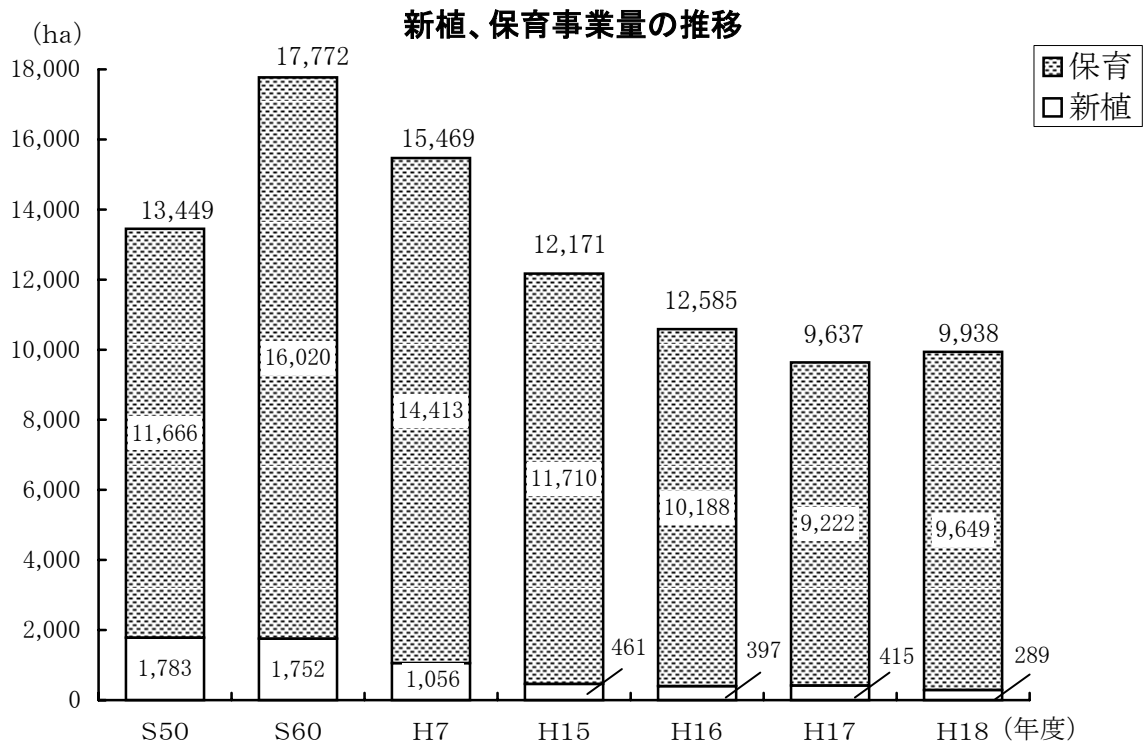
(2) 木材取扱量（関連資料P82）

木材取扱量は、昭和62年度以降減少傾向にある。



(3) 森林造成事業（関連資料P80）

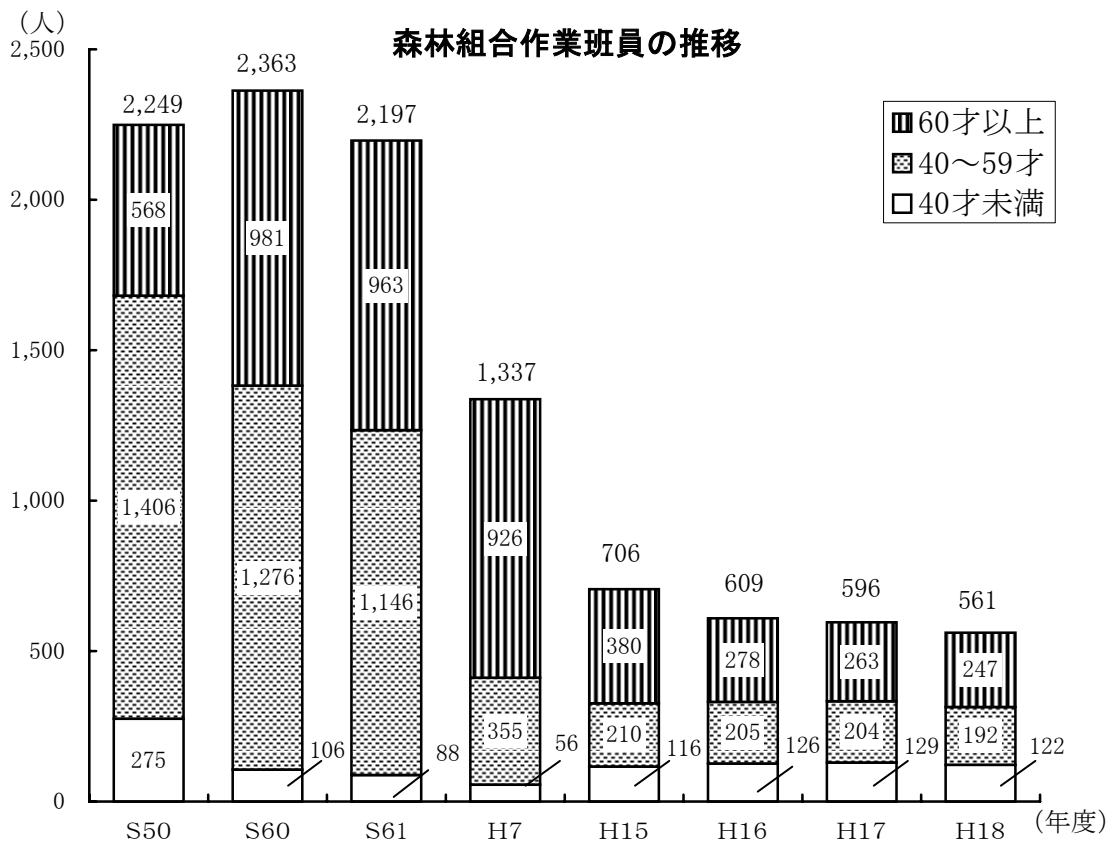
新植、保育の事業量は、減少傾向にある。



(4) 森林組合作業班（関連資料P81・団体指導室資料）

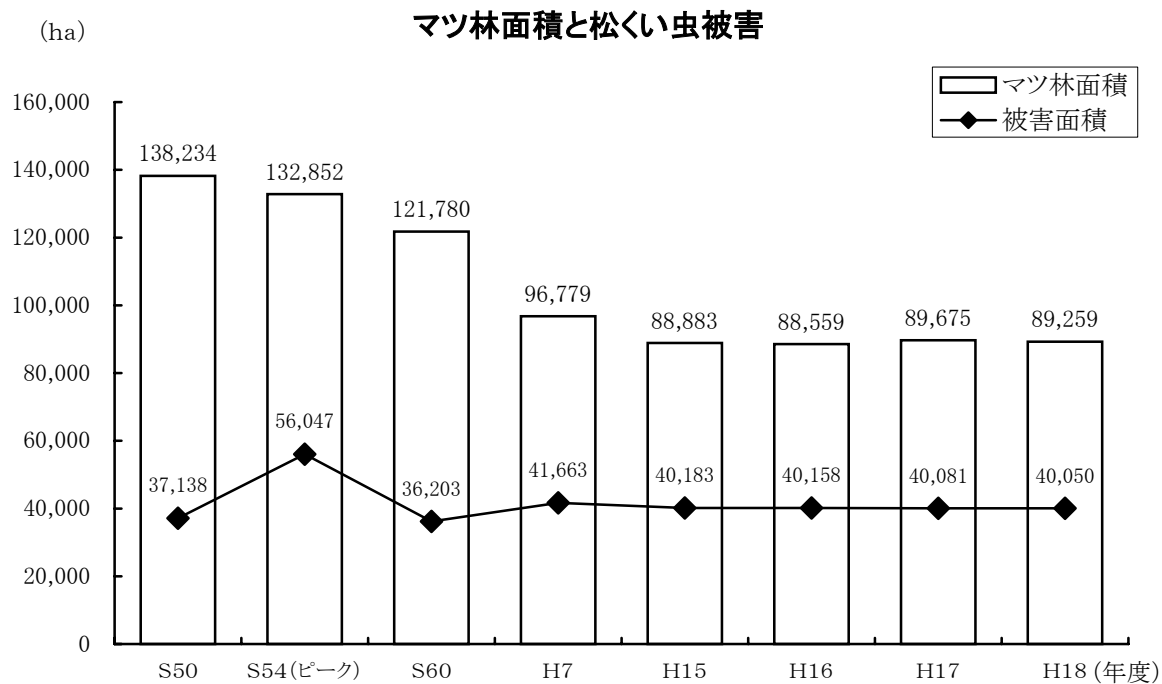
作業班員数は、昭和61年以降減少傾向にある。

また、近年高齢化が顕著となっていたが、平成9年度以降、40才未満の若年者の割合は増加傾向にある。

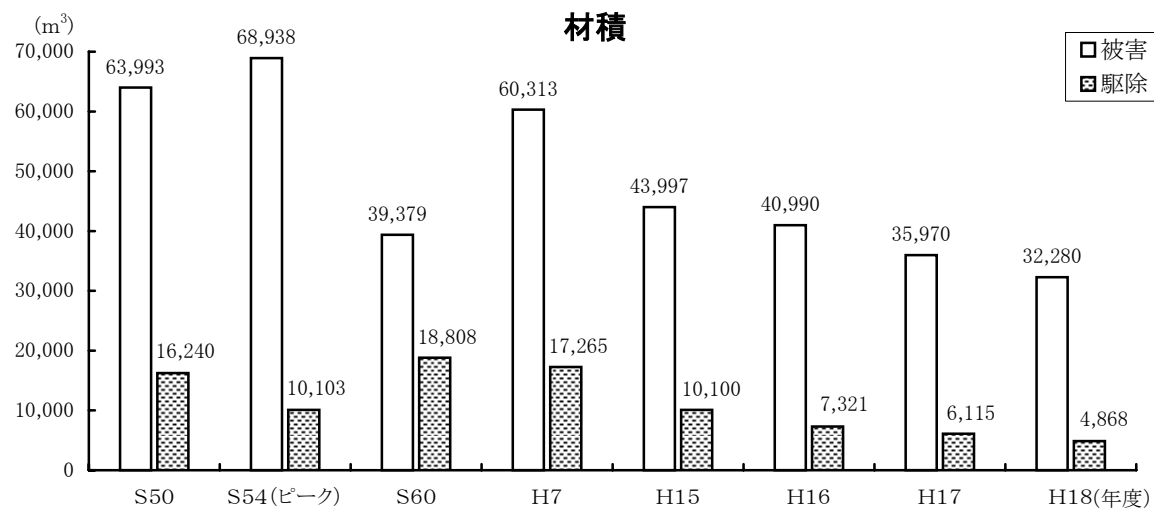
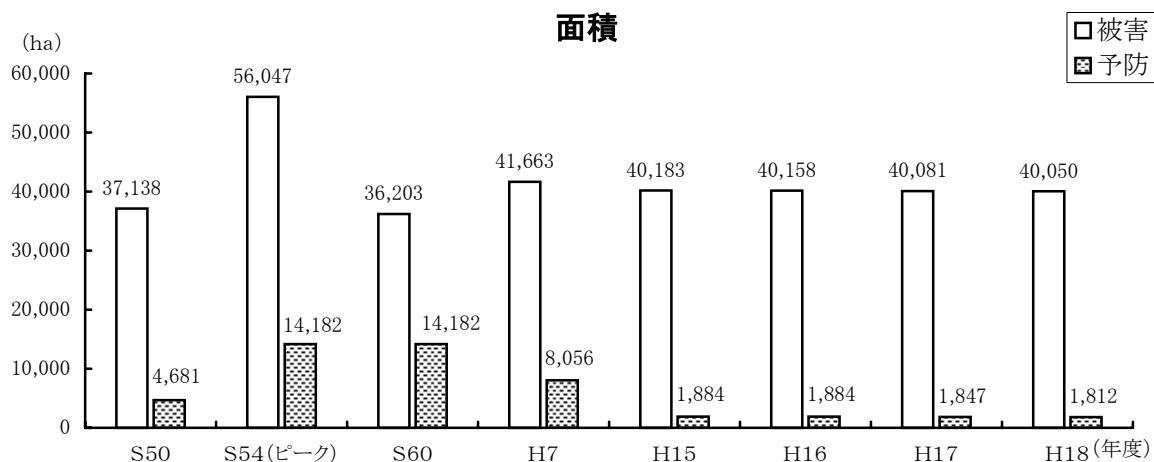


5. 森林被害

(1) マツ林面積と松くい虫被害 (関連資料P24, 91)



(2) 松くい虫防除事業の推移 (関連資料P91)



6. 林業普及

(1) 林業士及び林業作業士の認定状況 (関連資料P93, 林業振興班資料)

区分	指導 林業士	青年 林業士	基幹林業 作業士	林業技能 作業士	林業 作業士	計
認定者数	94人	4人	59人	26人	95人	278人

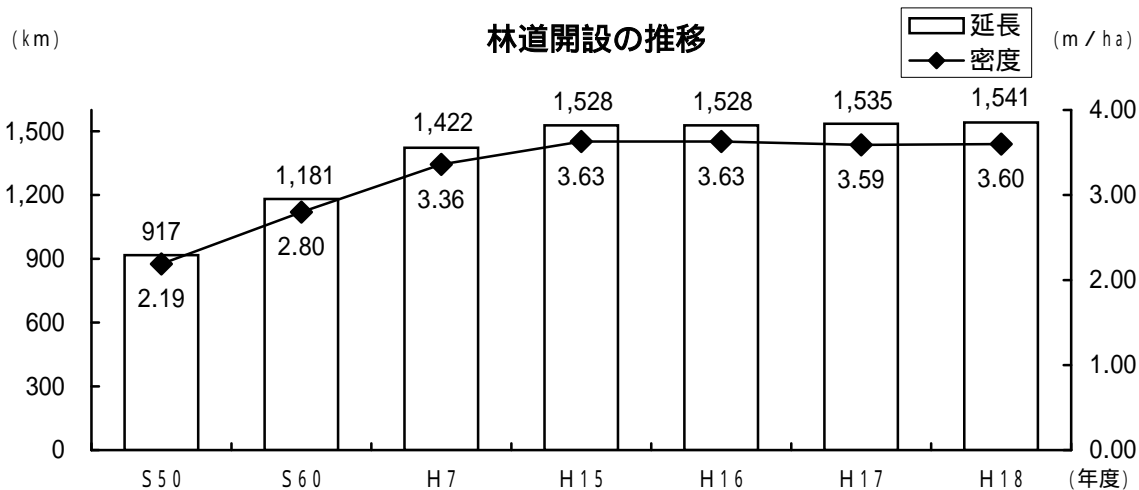
(2) 主要林業機械の保有状況 (関連資料P94)

年度 機械種別	S50	S60	H7	H15	H16	H17	H18
集材機	649	520	437	344	317	282	306
運材機	181	359	479	441	444	292	301
フォークリフト	210	261	195	136	109	110	105
ショベル系掘削機	16	65	102	135	116	117	130
チェーンソー	5,431	12,324	12,029	10,808	10,588	10,534	10,254
刈払機	5,448	8,732	11,783	13,188	13,066	13,074	12,865
動力枝打機	-	224	553	556	481	398	371
苗畑用トラクタ	126	188	37	26	18	18	17

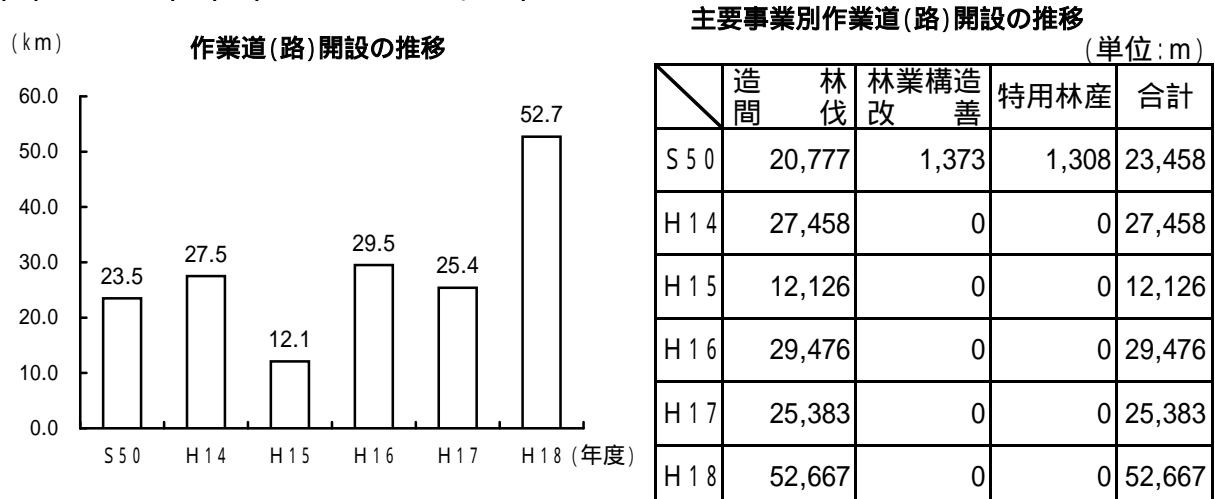
7. 林道等

平成18年度は、24路線(延長4.3km)を開設し、総延長は1,541kmとなった。
また、作業道(路)については、52.7kmが開設された。

(1) 林道 (関連資料P95)



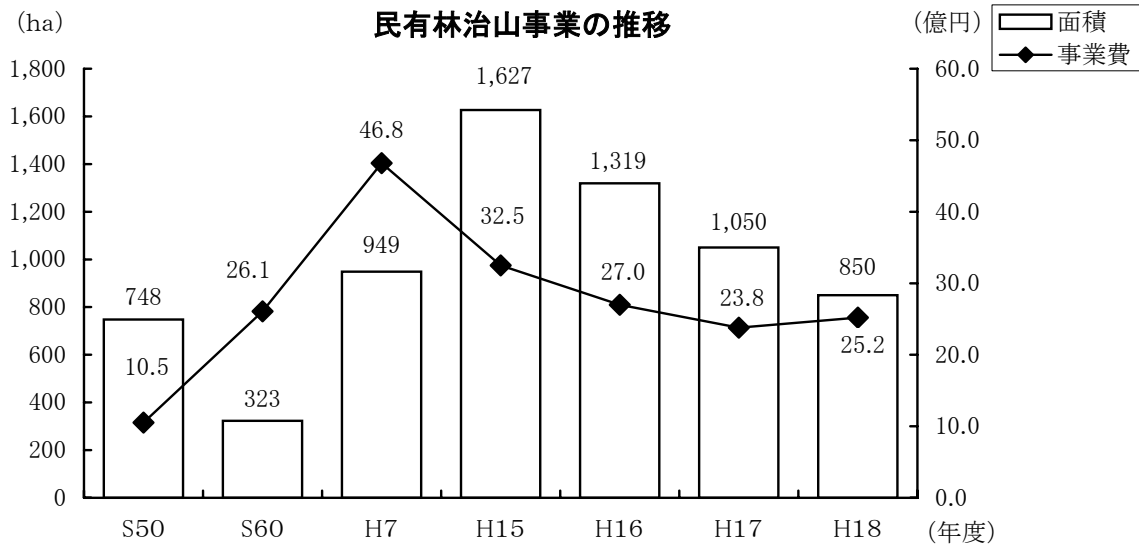
(2) 作業道(路) (関連資料P56, 73)



8. 治山

(1) 治山事業の推移 (関連資料P108)

治山事業は、森林整備保全事業計画(平成16年度～平成20年度)に基づき計画的な事業の推進に努めており、平成18年度には234箇所(面積850ha、事業費25.2億円)を実施した。



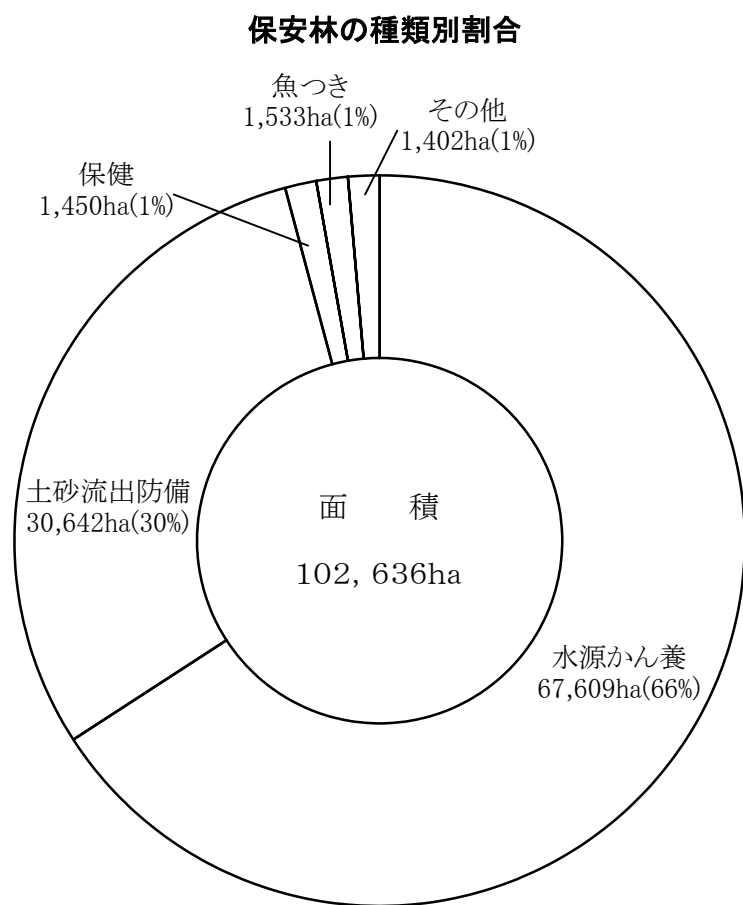
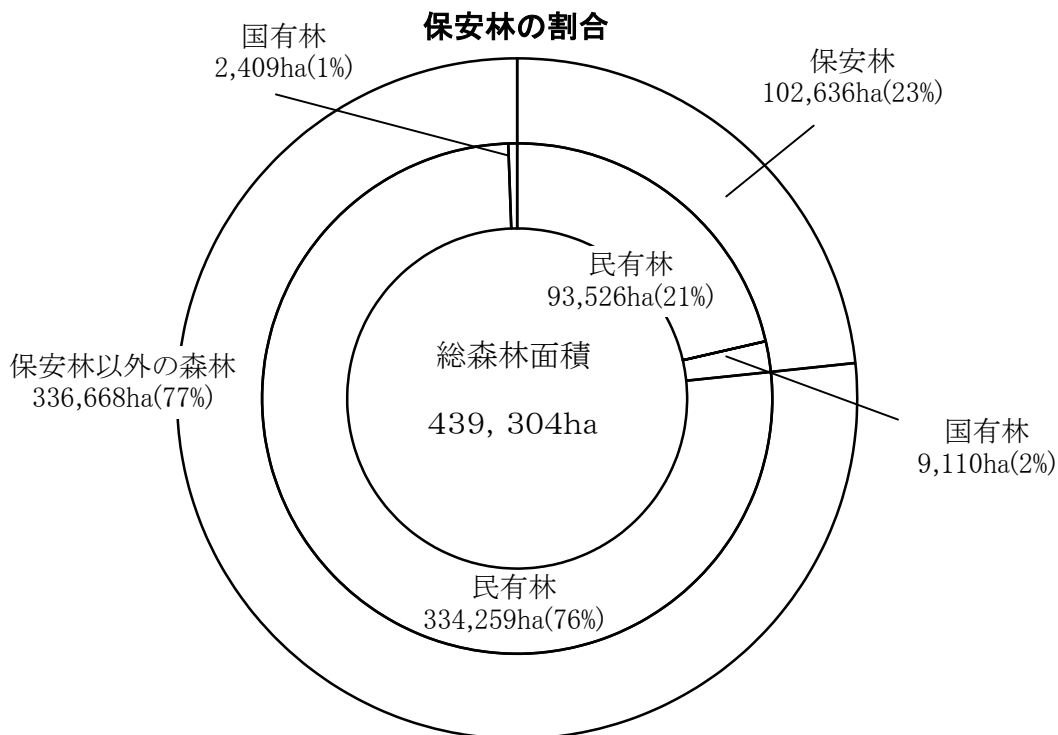
(2) 生活環境保全林 (関連資料 治山林道班資料)

生活環境保全林の概要

地区名	市 町	施行年度	区域面積	地区の愛称
			(ha)	
霜降山	宇部市	S47～49	200.00	霜降山市民の森
田床山	萩市	S50～52	100.00	田床山市民の森
千坊山	光市	S51～53	120.00	市民の森
太華山	周南市	S53～55	40.00	
長野山	周南市	S54～56	30.00	長野山緑地公園
天神山	防府市	S55～57	16.56	天神山森林公園
国見台	下関市	S56～58	62.00	国見台森林公園
菩提寺山	山陽小野田市	S57～59	30.00	菩提寺山市民の森
兄弟山	山口市	S58～60	13.00	おとどいやま森林公園
青海島	長門市	S59～61	30.00	青海島森林公園
嵩山	周防大島町	S60～62	42.00	長寿の森・嵩山森林公園
琴石山	柳井市	S61～63	18.60	琴石山グリーンパーク
笠戸高山	下松市	S62～H元	24.00	
烏帽子岳	周南市	S63～H2	34.80	烏帽子岳ウッドパーク
永安	岩国市	H元～2	8.50	周東町いこいの森
深坂	下関市	H元～3	46.10	サンサンフォレスト深坂
八丁峠	萩市	H元～3	15.00	旭水の森
犬鳴	山口市	H2～3	18.50	犬鳴公園
高照寺山	岩国市	H2～4	62.00	高照寺山グリーンパーク
大浦岳	下関市	H3～4	41.83	大浦岳森林公園
十種ヶ峰	阿東町	H4～5	29.80	
桜山	美祢市	H4～6	28.02	桜山森林公園
塔ヶ森	岩国市	H5～7	13.10	塔ヶ森展望公園
青海島	長門市	H6～7	10.00	
宇生	萩市	H7～9	56.70	やすらぎの森宇生
右田ヶ岳	防府市	H5～11	492.10	
華山	下関市	H8～11	36.80	
高瀬湖	周南市	H10～13	24.37	
水尻	長門市	H12～14	30.20	いこいの森三隅

9. 保安林（関連資料P118）

地域森林計画に基づき、計画的な整備に努めている。平成18年度末の保安林面積は、総森林面積の23%である。



10. その他

(1) 地域森林計画樹立状況（関連資料：地域森林計画書）

(単位:ha)

森林計画区	農林事務所	計画期間	民有林面積		
			対象森林	対象外森林	計
岩徳	岩国・田布施・周南	平成19年～28年	149,939	484	150,423
萩	山口・萩	平成15年～24年	88,234	4	88,238
豊田	下関・長門	平成16年～25年	73,757	455	74,212
山口	山口・美祢	平成17年～26年	114,702	210	114,912
計			426,632	1,154	427,785

(2) 保有規模別林家数（関連資料：農林業センサス）

(単位:戸、ha、%)

区分	1990年 (平成2年)		2000年 (平成12年)		2005年 (平成17年)				H17/H12 林家数		
	林家数		林家数		林家数		所有面積			一戸当たり 保有規模	
		構成比		構成比		構成比		構成比			
総数	35,008	100.0	33,114	100.0	28,119	100.0	140,792	100.0	5.01	85	
保有階層別	1～5ha	25,926	74.1	25,225	76.2	21,268	75.6	45,985	32.7	2.16	84
	5～20ha	7,952	22.7	6,889	20.8	5,872	20.9	50,316	35.7	8.57	85
	20～50ha	942	2.7	836	2.5	792	2.8	21,803	15.5	27.53	95
	50ha以上	188	0.5	164	0.5	187	0.7	22,687	16.1	121.32	114

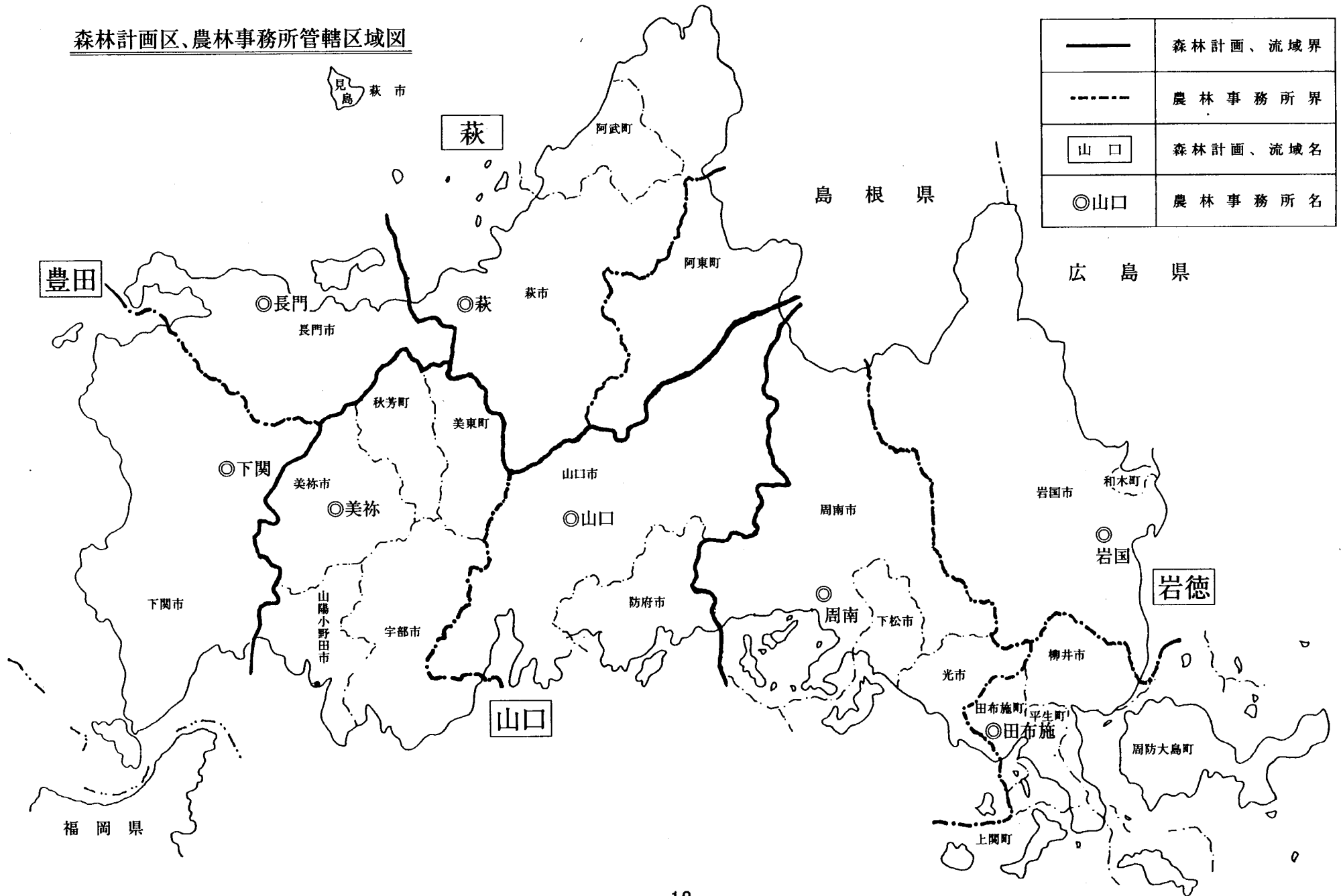
注:1「林家」とは保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

(3) 森林施業計画の認定状況（関連資料P33）

区分	民有林面積	認定面積	認定率
属地	427,785 ha	186,847 ha	44 %

森林計画区、農林事務所管轄区域図

——	森林計画、流域界
- - - -	農林事務所界
山口	森林計画、流域名
◎山口	農林事務所名



自然環境保全施設等整備状況図

